

# 社会的責任と地域貢献活動

## ◆「経営者保証に関するガイドライン」への対応方針について

経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会および日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、当会は、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢整備を実施いたしております。

当会は、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めてまいります。

## ◆金融円滑化の取り組みについて

当会は、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、「最も重要な役割のひとつ」として位置付け、公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向け、当会としての方針を定め、取り組んでいます。

金融円滑化に係る基本方針はこちらから 〈<http://www.jabank-hokkaido.or.jp/shinren/efforts/>〉

## ◆お客さま本位の業務運営に関する取り組みについて

### お客さま本位の業務運営に関する取組方針

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

本会では、この理念のもと、平成29年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

#### 1. お客さまへの最適な商品提供

- (1) お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。

#### 2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客様にふさわしい商品をご提案いたします。
- (2) お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。
- (3) お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。

#### 3. 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

#### 4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

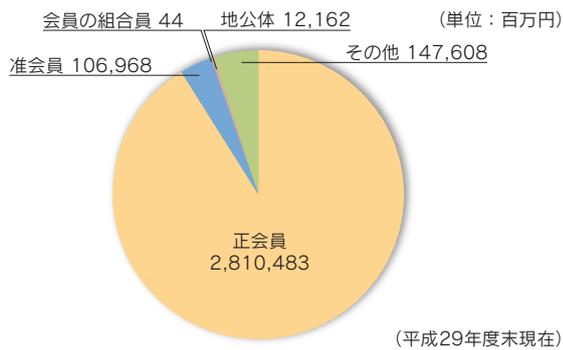
以上

## 地域経済活性化への貢献

当会は、地元のJA等が会員となって、お互い助け合い発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

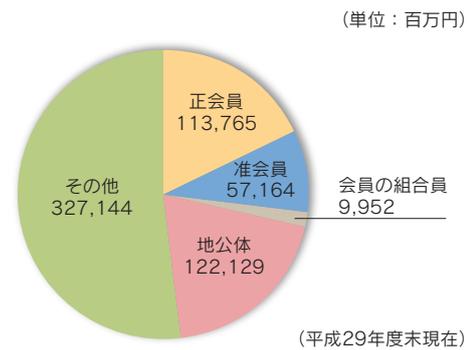
### 地域からの資金調達の状況

#### 【貯金残高】（NCD含む）



### 地域への資金供給の状況

#### 【貸出金残高】



#### 【地方債引受】

平成29年度の北海道債の引受（銀行等引受債）は146億円でした。これは当年度内総発行額1,660億円に対し8.79%のシェアを占めており、引受全金融機関別のシェアでは上位第3位という重要な位置にあります。

道内農畜産物の販売代金等の資金を会員JAから貯金として吸収し、北海道債の引受をはじめ道内地方公共団体への融資として還元することにより、北海道経済の持続的発展に寄与し、地域社会の活性化に貢献するよう取り組んでおります。

# 社会的責任と地域貢献活動

## ファイターズドリームシートへの協賛

JAバンク北海道は、平成29年9月より、北海道日本ハムファイターズの「ファイターズドリームシート」への協賛を始めました。「ドリームシート」は、北海道の活性化や子ども達の未来のために、福祉団体を通じて子ども達を札幌ドームでのファイターズ公式戦に招待する社会貢献活動であり、2017年シーズンは他の協賛企業（19社）も含め、18試合で514名の子ども達を招待いたしました。

## クリスマス交流キャラバン

JAバンクのマスコットキャラクター「ちょリス」が、クリスマスの時期にサンタクロースに扮して札幌市近郊の幼稚園等を訪問しました。クリスマス会等のイベントで園児達と交流し、最後にクリスマスプレゼントを全員に贈りました。



〈クイズやダンスを披露するちょリス〉

## 全日本大学駅伝北海道予選会／日刊スポーツ豊平川マラソンの応援

JAバンクでは、スポーツ振興等を目的として、各種スポーツの応援・協賛等を行っております。

平成29年度で9年目となる全日本大学駅伝への協賛では、8月に行われた北海道地区予選会に地元JA等と大会のサポート役として参加し、沿道で声援を送ったほか、道産米を使った「おにぎり」、道産生乳を使った「飲むヨーグルト」、JAバンクオリジナルタオルの差入れを行いました。

また、JAバンク北海道では平成28年から「日刊スポーツ豊平川マラソン」への協賛も行っており、特設ブースの出展やちょリスの登場などでランナーたちを応援しております。



〈大学駅伝北海道予選会では、JAさっぽろ、JAサツラク、農林中央金庫の職員と共に、熱い声援を送りました。〉

## 地域貢献活動の取り組み

### 清掃活動の実施

地域の美化の観点から、北海道の環境市民団体「NPO 法人 北海道市民環境ネットワーク」が事業運営する「ラブアース・クリーンアップin北海道」の活動に参加し、各事務所周辺で清掃活動に取り組んでおります。



### 献血への協力活動

地域医療に貢献する観点から、年数回、各事務所で日本赤十字社の出張献血（献血バス）に協力しており、平成29年度は、延べ58人が献血に協力しました。

また、当会は、緊急的に血液が不足した時の協力・支援等のため、日本赤十字社の「献血サポーター」に登録しております。

### エコキャップ・リングプル運動

そのまま捨てればごみとなるペットボトルのキャップや空き缶等のリングプルを収集し、障がい者雇用や難病小児への支援を行う全国社会福祉援護協会の取組みに協力しております。

平成29年度は、約24,500個のキャップ、約19,000個のリングプルを収集し、全国社会福祉援護協会へ寄贈いたしました。

### 使用済み切手収集運動

郵便物等に貼りつけられている使用済み切手の収集運動に協力しています。集めた切手は、日本ユニセフ協会に寄贈し、ユニセフ募金として世界中の子どもたちの援助に役立てられます。

平成29年度は、約23,000枚を収集し、日本ユニセフ協会に寄贈いたしました。



### ベルマーク運動

ベルマーク教育助成財団の行うベルマーク運動に賛同し、養護学校など支援が必要な学校の設備や教材購入のためベルマークを収集し、ベルマーク教育助成財団へ寄贈しております。

# 社会的責任と地域貢献活動

## 大通り公園花壇づくり

当会では、札幌市の緑化事業への参加として、農林中央金庫札幌支店が行っている札幌市大通り公園での花壇植栽活動に平成26年度より参加しております。

今後も活動を通して、地域の環境整備に努めてまいります。



## 地域社会とのふれあい

各JAでは、年金をJAで受け取られている皆様を中心に「年金友の会」をつくり、会員間の親睦を深める活動を行っており、当会は、各JAを通じてこれらの活動を支援し、健康で楽しく暮らせる明るい地域社会づくりに協力しております。

## 高齢化社会と年金相談

高齢化社会を迎え年金受給者は増加傾向にあります。

JAバンクでは、これから年金をお受取りになる方への受給手続の支援など、年金に関する相談や疑問をお持ちの方に対応できる相談窓口の充実に取り組んでおります。

年金に関するご質問等は、最寄りのJA窓口にお尋ねください。

## 環境保全への取り組み

当会は、社会の一員として環境への負荷を認識し、地球温暖化対策や循環型社会の構築へ向けた取り組みとして省資源・省エネルギー・リサイクルに配慮するなど、環境負荷の低減に努めております。

### ■全会的な環境負荷低減への取り組み

平成18年度から、3カ年毎に環境保全行動計画を策定し、「節電」、「ガソリン使用量削減」、「紙使用量削減」に取り組んでおります。

平成27～29年の3カ年では、平成26年度実績からの削減を目指し、以下の実績となりました。

#### ①節電

事務室内照明のLED化に加え、蛍光灯の間引き、室内温度管理の徹底、不在エリアの消灯などの節電に取り組んでおります。

平成29年度の使用量は、平成26年度対比12.5%の削減となりました。

#### ②ガソリン使用量削減

ガソリンの使用による二酸化炭素排出の抑制を図るため、エコドライブの実践および営業車両のハイブリッド車等の低燃費車への切替えを順次行っております。

平成29年度の使用量は、平成26年度対比4.0%の削減となりました。

#### ③紙使用量削減

平成28年度からペーパーレス会議システムを導入し、会議等での活用を通じて削減に取り組んでおります。

平成29年度の使用量は、平成26年度対比4.9%の削減となりました。

### ■札幌市の事務所における環境保全活動への取り組み

当会では、「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づき、札幌市の事務所（北農ビル・事務センター）において、平成15年度から3カ年毎に環境保全行動計画を策定し、電気・ガソリン・重油および天然ガス使用量の削減を通じた二酸化炭素排出量の削減に努めております。

平成27～29年の3カ年では、平成26年度実績からの削減を目指し、以下の実績となりました。

(単位:t-CO<sub>2</sub>)

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績
CO <sub>2</sub> 排出量	803	799	735	725
26年度対比削減率 (%)		0%	8%	10%